



記事で情報収集 新入行員が実践

福邦銀、活用講座

福邦銀行(本店福井市)の新聞を活用した新入行員研修は5日、あわら市の県立菅原



青年の家で開かれた。新聞の記事や写真を切り貼りしてオリジナルの新聞を作成し、情報収集や伝えることの大切さを学んだ。

ビジネス現場で新聞を活用

する「NIB(エヌアイビー)

「ニュースペーパー・イン・ビジネス」の取り組みを行っている福井新聞社の川塚康弘メディア整理部長が講師を務めた。研修中の13人が受講した。

福井新聞や県外の地方紙を使った「まわしよみ新聞」では、3グループに分かれて新聞を熟読した。現金を使わない中国の現状を伝える本紙連載「キャッシュレスの波」や、働き方改革に関する記事など、気になる記事を選んで内容や感想を説明。グループ内で話し合いをして雑談力を磨いた。写真。

切り取った記事や写真は専用の用紙に貼り付け、「何を伝えるか」を考えながら見出しをつけたり、感想を書いたりした。勝見詩穂さん(20)は「記事を通じた意見発表で個人の考えを知ることができた」と話していた。NIBの問い合わせは福井新聞社みんなの新聞部 ☎0776(57)5122。(藪内弘昌)